

伝いや子もりをさせられるために、学校に行けない人もたくさんいました。また、学校を休んでも平気でした。雨が降ったといつては休み、お祭りだからといつては休む、天気の良い日には途中で遊んでいて、学校に来ない友だちもたくさんいました。

しかし、伊策は、祖父に「学校を休んではいけない」と、きびしく言われていたので、学校を休むことはありませんでした。学校に来てみると、休まなかつたのは伊策ひとりだけということもありました。そんなときは、きびしい祖父がいなければ自分も休めるのにと思いましたが、まじめに学校で勉強した伊策は、南会津郡役所みなあいつぐんやくしよから何度も表彰ひょうじゆうをうけました。

卒業の前には、行いがりつぱで成績もすぐれているというので、福島県から表彰され、りつぱな文箱ふみばこをいただきました。そんなときは、祖父のはげましくきびしさを、ありがたく思いました。